

三重建資RC四試 4212 号
受付 2021年11月02日
報告 2021年11月12日

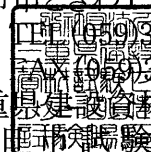
三重県津市安濃町戸島225番地

株式会社 安芸砂利 殿

国土交通省中部地方整備局 認知

〒510-0834

三重県四日市市ときわ1丁目2番40号



54-3706

54-3736

一般社団法人 三重県建設試験センター

四日市試験場

承認署名者 主任 中村 尚子

試験報告書

さきに、ご依頼のありました持込試料(骨材)のアルカリシリカ反応性試験の結果を、下記のとおり御報告申し上げます。

1,	試料名	陸砂 ✓		
2,	依頼者	安濃川流域 花こう岩を主とする。 ✓		
	指定項目		採取場所	株式会社 安芸砂利 砂利工場 ✓
	採取日		2021年11月02日 ✓	
3,	試験項目	骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)		
4,	試験日	2021年11月02日 ~ 2021年11月12日 ✓		
5,	試験結果	無害 ✓		

注) 上記1、2の項目については、依頼書の内容より記入しました。

全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目

(1/2)

適合

1, 試験結果

試料	繰り返し	アルカリ濃度減少量 Rc (mmol/L)	溶解シリカ量 Sc (mmol/L)	
			吸光光度法	質量法
陸砂	1	60	22	----
	2	59	22	----
	3	60	23	----
	平均値	60 ✓	22 ✓	----

2, 試験方法

JIS A 1145 : 2017 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)による

備考 ; 吸光光度法で使用した測定機器 日立U-3900形分光光度計

3, 骨材のアルカリシリカ反応性の判定

骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。

a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を”無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を”無害でない”と判定する。

b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を”無害”と判定する。

c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

以上

三重建資RC四試 4213 号
受付 2021年11月02日
報告 2021年11月12日

三重県津市安濃町戸島225番地

株式会社 安芸砂利 殿

国土交通省中部地方整備局 認知

〒510-0834

三重県四日市市ときわ1丁目2番40号

TEL 059-354-3706

FAX 059-354-3736

一般社団法人 三重県建設資材試験センター

四日市試験場

承認署名者 主任 中村 尚子 (中村)

試験報告書

さきに、ご依頼のありました持込試料(骨材)のアルカリシリカ反応性試験の結果を、下記のとおり御報告申し上げます。

1,	試料名	陸砂利 25 ✓		
2,	依頼者	安濃川流域 花こう岩を主とする。 ✓		
	指定項目		採取場所	株式会社 安芸砂利 砂利工場 ✓
	採取日		2021年11月02日 ✓	
3,	試験項目	骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)		
4,	試験日	2021年11月02日 ~ 2021年11月12日 ✓		
5,	試験結果	無害 ✓		

注) 上記1、2の項目については、依頼書の内容より記入しました。

全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目

(1/2)

適合 (内久田)

1, 試験結果

試料	繰り返し	アルカリ濃度減少量 Rc (mmol/L)	溶解シリカ量 Sc (mmol/L)	
			吸光光度法	質量法
陸砂利 25	1	32	20	----
	2	32	20	----
	3	31	20	----
	平均値	32 ✓	20 ✓	----

2, 試験方法

JIS A 1145 : 2017 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)による

備考 ; 吸光光度法で使用した測定機器 日立U-3900形分光光度計

3, 骨材のアルカリシリカ反応性の判定

骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。

a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を”無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を”無害でない”と判定する。

b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を”無害”と判定する。

c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

以上

三重建資RC四試 4214 号
受付 2021年11月02日
報告 2021年11月12日

三重県津市安濃町戸島225番地

株式会社 安芸砂利 殿

国土交通省中部地方整備局 認知

〒510-0834

三重県四日市市ときわ1丁目2番40号

TEL 054-3706

FAX 054-3736

一般社団法人 三重県建設資材試験センター

四日市試験場

承認署名者 主任 中村 尚子



試験報告書

さきに、ご依頼のありました持込試料(骨材)のアルカリシリカ反応性試験の結果を、下記のとおり御報告申し上げます。

1,	試料名	陸砂利 40 ✓		
2,	依頼者	安濃川流域 花こう岩を主とする。 ✓		
	指定項目		採取場所	株式会社 安芸砂利 砂利工場 ✓
	採取日		2021年11月02日	
3,	試験項目	骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法) ✓		
4,	試験日	2021年11月02日 ~ 2021年11月12日 ✓		
5,	試験結果	無害 ✓		

注) 上記1、2の項目については、依頼書の内容より記入しました。

全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目

(1/2)

適合

1, 試験結果

試料	繰り返し	アルカリ濃度減少量 Rc (mmol/L)	溶解シリカ量 Sc (mmol/L)	
			吸光光度法	質量法
陸砂利 40	1	35	20	----
	2	33	20	----
	3	35	20	----
	平均値	34 ✓	20 ✓	----

2, 試験方法

JIS A 1145 : 2017 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)による

備考 ; 吸光光度法で使用した測定機器 日立U-3900形分光光度計

3, 骨材のアルカリシリカ反応性の判定

骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。

a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を”無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を”無害でない”と判定する。

b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を”無害”と判定する。

c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

以上